

# 志 学 報

大阪大谷大学教育後援会会報

## 第54号

大阪府富田林市錦織北3丁目11-1

電話 (0721) 24-0381

### ご 挨拶

教育後援会会長 高間 正浩



教育後援会会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。

平素は教育後援会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

5月14日に予定しておりました「令和4年度大阪大谷大学教育後援会総会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、三年続けて中止を余儀なくされました。議案案件(令和3年度決算報告並びに会計監査報告、令和4年度予算案並びに役員選出)については書面表決にてご承認いただき、このたび会長の大役を務めさせていただくことになりました高間正浩でございます。皆様のご期待に少しでも応えられるように、精一杯つとめさせていただく所存でございますので、役員の皆様、会員の皆様のご理解

とご協力を賜りますように切にお願い申し上げます。

令和4年度も、コロナで始まりコロナに振り回される一年になる様相です。こうした中で、大学行事としては、昨年度の卒業式、今年度の入学式が昨年に続き関係者のみの参加となり、保護者の皆様の参列はかないませんでした。また、今年度の志学祭も学生のみでの開催となりそうです。しかし、役員・会員の皆様、学生の皆様の命と健康を最優先に考えると、このような選択もやむを得ないものと考えております。

今年度はまだ雌伏の時ですが、かつての日常を取り戻せば、また、新しい生活様式の中で、教育後援会としてふさわしい、新たななかかわり方ができればと考えております。

具体的には、役員・会員は学生さんの後方支援をしつかりとし、学生生活の応援団としてお子さまの成長を見守る会としてさらに発展することだと思っております。

最後になりましたが、大阪大谷大学及び教育後援会の発展と会員の皆様、ご子息、ご息女のご健勝を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

### ご 挨拶

学校法人大谷学園 理事長 左藤 章



教育後援会の皆さま方におかれましては、平素より大阪大谷大学の教育活動に対し、多大なご支援ご鞭撻を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年で、学園創立113年、大学創立56年、また薬学部開設及び男女共学化から16年を迎えることができました。これもひとえに、教育後援会の皆さま方のご支援ご協力の賜物と、重ねて感謝申し上げます。

私は、これまで国政に携わってまいりましたが、令和4年4月より、学校法人大谷学園の理事長に就任いたしました。浅学非才の身ではございますが、今後は学園の発展に邁進していく所存です。

さて、本学では、新型コロナウイルス感染症や少子化等の影響もあり、残念ながらここ2年間、入学者数が減少

しております。しかしながら、教職員らによるアットホームできめ細やかな教育指導により、高い就職率(特に特別支援学校への採用者数は全国トップクラス)を維持しております。また、薬剤師免許取得率も好調です。これは学生、教職員が共に、日々研鑽を積み重ねてきた成果でありましょう。

世界的なパンデミックや、ロシアによるウクライナ侵略など、先行きの見えないこの時代にこそ、「報恩感謝」の念を有した人材の育成が必要であると確信しております。新学科の設置や、デジタル化・グローバル化に対応できるカリキュラムの見直し、校舎の設備の充実・改善等を進め、魅力ある大学づくりを教職員と共に取り組んでまいります。

学園創立115周年、120周年を前に、より充実した教育環境を整え、社会に貢献できる人材の育成をさらに推し進めて行くためにも、引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら皆さま方のご健勝とご多幸を衷心より念じて、ご挨拶とさせていただきます。

## ご 挨拶

大阪大谷大学 学長 浅尾 広良



教育後援会の皆様におかれては、平素より大阪大谷大学の教育・研究活動に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍も3年目を迎えました。当初は、集まること自体が危険という意識が強く、かつ緊急事態宣言の発出による自治体からの自粛要請もあったため、登学禁止とせざるを得ませんでした。しかし、感染拡大防止の知見も積み重なり、今では「ウイズコロナ」の中で教育・研究活動の継続を行っています。そのためには、学内の感染状況を迅速かつ正確に把握することが重要です。どこかに集中して感染者が出ていないかを注意深く監視する必要があります。幸い、今年度は4月当初から順調に対面授業を行えていますし、授業内で感染が広がった可能性のある事例は起こっていません。7月中旬以降、第7波の感染拡大が続き、本学からも多数の感染者が出ましたが、大学内では広がらず、無事に前期を終えることができました。

課外活動では、散発的な感染が起こっているものの、活動自体はだいぶ正常化してきました。2020年度から約2年間、一部の部活動を除き停止状態が続いていたため、このままでは、大学の課外活動のいくつかが継承されなくなるのではないかと危惧されましたが、学生の皆さんと関係する教職員の協力により、なんとか復活の道筋が見えてきました。

また、教育後援会からご支援をいただいているキャリア支援活動等も、順調に行えています。

大学は、学生の皆さんが集い、新しい知識や友と出会う場であり、その出会いを基盤とした学びの場であり、そこから生まれるさまざまな活動によって大学全体が活性化されるのだということを実感しています。2年前の誰もいない静まりかえったキャンパスには二度と戻りたくはありません。

コロナ禍により教育・研究活動はさまざまな影響を受けましたが、学生・教職員が皆で協力して、今ここで皆と集まって一緒に活動できる幸せを噛みしめながら、魅力的な大学作りをしていきたいと思っております。今後ともご支援のほど、よろしく申し上げます。



## ご 挨拶

教育学部長 小田 浩伸



教育後援会の皆様におかれましては、本学・本学部の教育や研究活動にご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。近年の予測困難な社会状況の中で、新しい未知の課題に対応する力の育成が求められています。実際に、

数年先に社会にでる(就労する)人は、三つの大きなライバル(共存すべきライバル)に直面します。一つめは、「AI(人工知能)」です。テクノロジーの急激な発展により、産業構造や職種が再編され、人間がしていた多くの仕事がAI(ロボット)の仕事に置き換わっていく可能性があります。二つめは、「外国人労働者」です。日本の経済を支えていく上では必需ですが、どこかの分野では競合していくと考えられます。三つめは、「高齢者」です。高齢化社会が進み、4人に1人以上が高齢者となり、人生90年の時代から、経済的にも70歳ぐらいまでは働くことになると考えられます。つまり、70歳前後の人と、新卒の人のどちらを採用するかという時代が目前になってきています。どれも共存すべきライバルですが、こうした社会状況を踏まえて生き抜くための力の育成は、これからの教育に求められている喫緊の課題になっていると思われま

す。教育学部の3専攻は、それぞれの現場体験と大学での学びを結び付けて、専門性と実践力を備えた教育者の養成をめざし、得意分野(強み・良さ)を育てることと、きめ細やかな指導による教育者へのモチベーションを維持・向上させる取組を重視しています。そのサポート体制として、全学的な教職教育センターのみならず、教育学部独自で、幼児教育実践研究センター、STEAM Labシステム、特別支援教育実践研究センターによる実習支援やキャリア支援の充実を図っています。そして、教育学部の教職員全員で、教員採用試験対策セミナー(教職スタートアップセミナー、教採サクセスセミナー、教採対策特訓など)及び、公立保育職採用試験突破プログラムによる徹底した採用試験対策に取り組んでいます。その結果、2023大学ランキング(AERA 朝日新聞出版社)において、幼稚園教諭は大阪府1位(全国10位)、保育職(幼稚園+保育士)も大阪府1位、小学校教諭は大阪府5位、特別支援学校教諭は大阪府1位(全国5位)という高い採用試験現役合格実績が公表されました。今後も、学生の「夢」を達成できるようキャリア支援を一層充実させるとともに、今日的課題である「特別支援教育とICT教育」をベースとした教育を重点課題として、誰ひとり取り残さない教育・保育ができる教育者の養成をめざして取り組んでいきます。

以上、教育における課題と、教育学部の現状を述べさせていただきましたが、教育後援会の皆様には、これらの活動をご理解いただき、一層のご支援を賜ることができれば幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

## 学生生活について

学生部長 田沢 晶子



教育後援会の皆様におかれましては、平素より本学の教育・研究活動、そして課外活動を含む学生生活全般に多大なるご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

2022年度は、本学ではほぼ全面的に対面授業を再開致しました。課外活動を含めた学内外の活動が活発に行われるようになりましたことをまず皆様へご報告申し上げます。学生の皆さんの安全を守るために、学生課へ課外活動内容を申請して頂き、感染防止対策の確認をしましてから、学生生活における各種の活動を継続して頂いております。2年以上に及ぶ自粛生活を強いられてきた学生の皆さんが、本学で学友と笑顔を交わし、一層勉学に励み、早朝、放課後に各種の課外活動に取り組む姿を拝見し、志学台が再び活気を取り戻したことを実感致しました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染拡大の第7波が襲い、本学においても7月頃から感染者が増え始め、8月には急増しました。ちょうど前期末でしたので、試験や課題提出において混乱せぬよう、科目担当者やアドバイザー教員から、学生の皆さんへ対応のご連絡を差し上げるこ

ととなりました。コロナ禍は続いており、保護者の皆様には、お子様のことで様々なご心配、ご不安を覚えることがあるかと存じます。そのような時には、学生課を含め各種窓口へお気軽にお問合せください。また本学には授業に関する困りごとのご相談を預かるアクセスルーム、心身の健康相談には保健室、学生相談室がございますので、ご活用いただけましたら幸いです。

最後に、教育後援会の皆様のご支援により、学生の皆さんは、コロナ禍においても感染対策を施しながら課外活動に奮闘していました。

学生課では、学生の皆さんにより充実した学生生活を送って頂けるよう鋭意取り組んでまいりたいと存じます。今後とも温かいご支援とご指導を賜りますよう、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



## 「本意な就職」「辞めない就職」を目指して

キャリアセンター長 近藤 篤俊



教育後援会の皆様には、平素より就職活動やインターンシップ活動に対して、格別なるご高配を賜りまして、厚くお礼申し上げます。今年度よりキャリアセンター長を拝命致しました近藤でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

創立から50余年、本学は一貫して建学の精神「報恩感謝」にもとづく人間教育を重視しています。互いのいのちを尊び、感謝の心をもって他者と接することができる人を育みつつ、常に時代の要請に応える教育を行い、その時々々の社会の要請に応え、優れた実践力をもつ卒業生を輩出してきました。

本学のキャリアセンターには2つの軸があり、1つ目の軸「キャリア教育」では、4領域(学生生活系科目・仕事観/職業観系科目・社会人基礎力系科目・就活実践系科目)から構成する正課履修科目を1年次より設置しています。

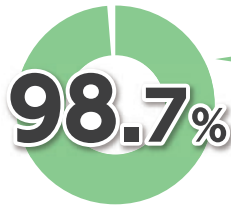
2つ目の軸「キャリア支援行事」では、民間企業、公務員などを目指すそれぞれのプログラムを1年次から数多く準備しています。この2つの軸を体系的に運動させたシステムを構築して、一人ひとりの学生が、自分の適性や希望に沿った進路を見つけることができる「本意な就職」「辞めない就職」を目指しています。

グローバル化や情報通信技術の急激な進展で社会構造が刻々と変化している昨今、企業の採用活動も大きく変わってきています。採用選考においては、経済界による就活スケジュールの指針が撤廃されたことや、インターンシップを重視するなど、今まで以上に「選考の早期化」「様々な選考方法の実施」が予想されています。本学のWebシステム(Active Academy、tani-WA、就活ナビ、キャリアセンターホームページ)や、御自宅への就活資料の送付物などで最新の就活情報を収集し、キャリア教育、キャリア支援行事に積極的に参加することが必須です。

希望する就職を実現するためには、皆様のご理解とご協力が不可欠です。本学キャリアセンターとの交流に加えて、本学学生が自信を持って社会に巣立ってよう、より多くの学びと挑戦の機会、ご支援を与えてくださるようお願い申し上げます。

2021 年度卒 各学科(専攻)就職決定率・取得できる主な資格免許

薬学科



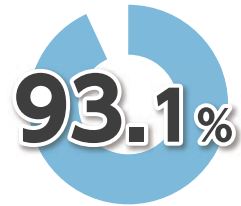
薬剤師免許取得率

88.6%

2011年度以降1,331名が卒業しており、そのうち1,179名(88.6%)が薬剤師免許を取得し、活躍しています。

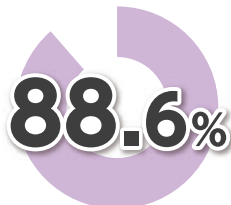
- 薬剤師※
- NR・サプリメントアドバイザー※
- 健康食品管理士※

日本語日本文学科



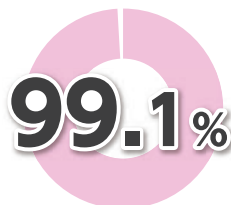
- 中学校教諭1種免許(国語)
- 高等学校教諭1種免許(国語・書道)
- 学校図書館司書教諭資格 等

歴史文化学科



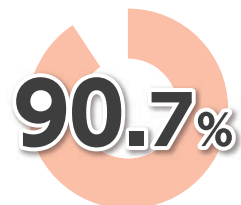
- 学芸員
- 司書資格
- 中学校教諭1種免許(社会)
- 高等学校教諭1種免許(地理歴史) 等

幼児教育専攻



- 幼稚園教諭1種免許
- 保育士資格
- 小学校教諭1種免許
- 特別支援学校教諭1種免許 等

学校教育専攻



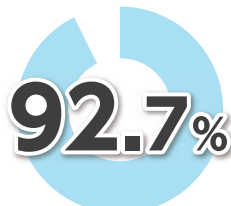
- 小学校教諭1種免許
- 中学校,高等学校教諭1種免許(英語・国語)
- 特別支援学校教諭1種免許 等

特別支援教育専攻



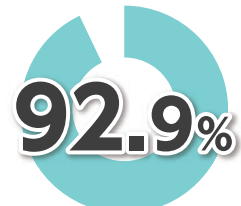
- 特別支援学校教諭1種免許
- 小学校教諭1種免許
- 中学校,高等学校教諭1種免許(英語・国語) 等

人間社会学科



- 中学校教諭1種免許(社会)
- 高等学校教諭1種免許(公民・福祉)
- 公認心理師※☆
- 社会福祉士 等

スポーツ健康学科



- 中学校,高等学校教諭1種免許(保健体育)
- CSCS※ ●健康運動指導士※
- 健康運動実践指導者※
- 初級障がい者スポーツ指導員 等

※受験資格

☆受験資格を得るには、学部指定科目を履修し、卒業後に実務経験あるいは大学院進学が必要。

教員採用者数 近畿圏トップクラス!! (国公立大)



詳しいデータは大学ホームページの「情報の公表」[4.]「卒業(修了)者数、進学者数、就職者数、業種別就職状況」[大学]をご参照ください。

令和 4 年度 教育後援会役員 (敬称略)

会 長	高間 正浩	常任幹事	北村 晶子	常任幹事	井中 雅美	常任委員	浜岡 有香
副 会 長	仲 美知子	常任幹事	森本 智美	常任委員	新庄美智子	委 員	川崎 重幸
副 会 長	杉本 孝美	常任幹事	長谷 圭悟	常任委員	小野 ゆかり	委 員	出口 信
副 会 長	溝脇 康之	常任幹事	山崎 英彦	常任委員	北木 登起子	委 員	長瀬 暁美
会 計	中澤レイ子	常任幹事	木之下京子	常任委員	石原 京子	委 員	西村 史
監 査	鳥居 圭子	常任幹事	竹本 栄治	常任委員	狩集 淑美	委 員	秀坂 小牧
監 査	東海 清美	常任幹事	合志由美子	常任委員	内田 紅子	委 員	平井 雅子
常任幹事	北田 貴子	常任幹事	國生 満枝	常任委員	木谷直甫子		